

■平城宮跡史跡指定 100 周年記念ロゴ

カラー



モノクロ



デザインコンセプト：

過去と現在が交感し、平城宮跡を未来へ届ける。

- ・ 100 周年の 00 を ∞（無限）に重ねて。
- ・ 過去：平城宮跡での発掘調査をはじめとする調査研究を象徴。
スコップと出土遺物（土器）のモチーフ。
地下、過去を想起させる濃茶と濃紺色で。
- ・ 現在：地下遺構が保存された広大な敷地の上に広がる空、
平城宮跡歴史公園での復原整備を象徴。
大極門のシルエットのモチーフ。
地上、現在から未来を想起させる空色で。
- ・ 未来：保存された平城宮跡にねぐらをつくり、
新たな価値を創造したツバメのモチーフ。
過去と現在の営みが未来につながっていくことを象徴。



* 平城宮跡 100 周年を記念して登場。

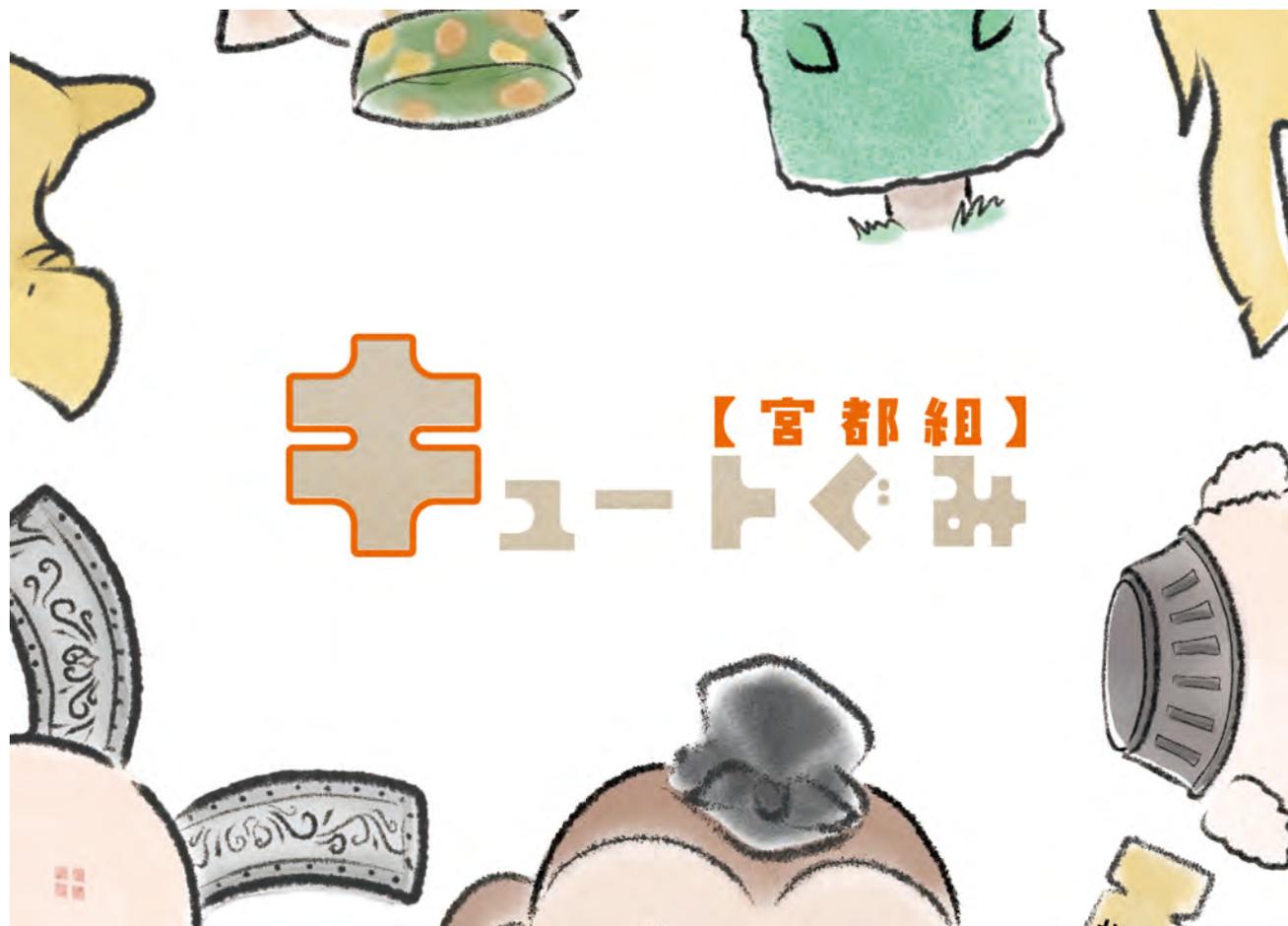
【キャッチコピー】 「平城宮跡や奈良時代、考古学にまつわる「？」が「！」となりますように」

【狙い】 馴染みのない、むずかしい印象のテーマ（出土遺物や遺構）をキャラでゆる〜く紹介することで親しみと関心をもってもらう。

【方向性】 遺跡の多様性を表現するため、小ネタごとにキャラクターが増えていく。

（自称：アンパンマン方式）

【キャラ設定】 一般の幅広い層に受け入れられるようなテイストで表現しつつ、内容は研究者や専門分野の層にも受け入れられるように考証。



▲ Twitter 登場の画像

* 登場予定キャラの一部。気まぐれに増員予定。



ドーバちゃん

土でつくられた手のひらサイズのお馬さん。
飛鳥・奈良時代を中心にはやっただおまじないの道具。足をこわされ、水のあるところに流される（足に骨折歴あり。）「はにわ」やイヌにまちがわれるとへこみがち。



かわらびつとちゃん

かわらのようせい。
「がれき」とよばれがちな出土遺物をこよなく愛し、宮都のキュートさを伝えることをライフワークとしている。
チャームポイントは、頭の「のきひらがわら」と、「のきまるがわら」のさしば（うちわ）。



さるまるくん

土器にえがかれたサルのようなようせい。
いろんな場所（特に平城宮跡）をたんけんするのが大好き！
食いしんぼう。
すきなあそびは「かりうち」。



えんめん^{けん}犬

えんめん^{けん}円面碗のようせい。
さるまるに何かを書いてほしい時は墨をくわえてやってくる。ほかにもいろんな「けん」種がいるらしい…。



ツゲじい

ツゲの木。
建物の柱の遺構表示として、平城宮跡に多く存在する。
本名は柱本^{はしらもと}ツゲゾウ。
柱本一族の長老。
モワモワしているが、年に何回か直線的なフォルムになる。



ひとがたさん

木でつくられた「人の形代」^{かたしろ}。
飛鳥・奈良時代を中心にはやっただおまじないの道具。人のわざわいをきゅうしゅうして、水に流される。
平和主義で無口。体に厚みがないうことを気にしている。
同じ木材から生まれたがきょうだいがいるらしい…。

